

第2回テーマ **知っておきたい「お見舞いの常識」とは？**

●ポイントチェック

- その1** **お見舞いのし袋・水引**
お見舞いの際は、地味にすることが基本。病氣見舞いには、袋の左側に赤い線が入った見舞い専用のものが一般的です。
- その2** **のし袋の表書きは毛筆が筆ペン、サインペンで**
のし袋の表書きは毛筆が原則ですが、筆ペンも許されています。万年筆やボールペンは不作法とされるため、どうしても筆が苦手な方はサインペンを使うとよいでしょう。文字の色は黒に限りま。
- その3** **お見舞い金は相手側に失礼にならないように**
「何が良いかと迷いましたが、お見舞い品のかわりに」といった一言を添えて渡すと良いでしょう。基本的に自分より目上の方に現金を贈るのは失礼とされています。



看病しているご家族には・・・

病氣見舞いのほかに、看病しているご家族に対しても、「看病見舞い」として、日持ちのするお菓子など、気のきいたお見舞いになりますので、適切に判断して贈ってはいかがでしょうか。



●区民健康講座開催日程&テーマ (予定) 第1部14:00~15:00 10分休憩 第2部15:10~15:40 質疑応答15:40~16:00

第1部		第2部	
第10回 4月9日(土)	*「ペインクリニックって何してるの?」 麻酔科 山崎部長	*「ご存知ですか?」~ソーシャルワーカー~ 医療福祉相談室 ソーシャルワーカー	
第11回 5月14日(土)	*「形成外科・美容外科ってどんなことするの?」 形成美容外科 秋月部長	*「家庭でできる床ずれ予防」 看護部 皮膚・排泄ケア認定看護師 看護師長 豊田 美和	
第12回 6月11日(土)	*「子宮頸がん」~その診断と予防と治療~ 今西副院長	*「夏の流行り病(はやりやまい)」 感染制御対策室 甲田 雅一	
第13回 7月16日(土)	*「子どもの事故」~おぼえておきたい応急処置~ 小児科 宇田川部長	*「マンモグラフィー検査について」 放射線科 マンモグラフィー認定技師 守谷 芽実	
第14回 8月6日(土)	*「知っておきたい皮膚感染症」 皮膚科 五十樓部長	*「皮膚のお薬あれこれ」 薬剤科 科長 中山 博幸	
第15回 9月10日(土)	*「腎臓の病気のお話」 腎代謝科 高木部長	*「腎臓病と食事」 栄養科 科長 宮本 あや子	

●参加費&参加申し込みについて ※申込受付時間/8:30~17:00(月~土曜日) ※定員になり次第、申し込み締切りとさせていただきます。

●参加費...**無料** ●参加申込... 東京警察病院 **健康講座事務局へお申し込みください。**
TEL.03-5343-5611 (内線14551) ご不明な点につきましては、事務局へお問い合わせ下さい。

※講座の詳細につきましては、変更の場合もございますので、病院ホームページをご覧ください。
<http://www.keisatsubyoin.or.jp/>

●診療のご案内

●受付時間

月曜日~土曜日	午前 8:00~11:30 午後 12:30~16:00
---------	---------------------------------

自動再来受付機 稼働時間.....7:30~16:00
自動入金機 稼働時間.....8:30~17:00
※防災センター・自動入金機:24時間稼働

●診療時間

月曜日~土曜日	午前 8:30~12:00 午後 13:00~16:30
---------	---------------------------------

- 開館時間: 7:00~18:00 (正面玄関)
※防災センター(時間外) 出入口は24時間オープン
- 休診日 **日曜日・祝祭日・年末年始(12/29~1/3)**

●地図



- 院内施設のご案内
- ◆レストラン(9F)利用時間: 7:30~18:00
 - ◆コンビニエンスストア・ATM(1F)利用時間: 6:00~21:00
 - ◆屋外駐車場 119台 一般料金: 200円/30分 受診者料金: 100円/30分

〒164-8541 東京都中野区中野4丁目2番1号
電話: 03-5343-5611 FAX: 03-5343-5612 www.keisatsubyoin.or.jp/
発行: 東京警察病院 経営企画課 編集制作: (株)ハッピーキャスト

地域の基幹病院として、患者様の健康に役立つ情報を!

T.M.P.H. ニュース

【東京警察病院オリジナル広報誌】 2011 MARCH vol. 3

第3号の目次 Topics Tokyo Metropolitan Police Hospital News

- 1 副院長紹介 | 2 Report | 当院の血管内治療のご紹介
3 Case Study 01 | 第2回 お見舞いマナーの紹介 | 4 Report | 区民健康講座のご案内

1 副院長紹介



今西 由紀夫

副院長職を拝命し、その重責に答えられるか不安ではありますが、精一杯努力する覚悟であります。院長の求める「マグネット病院」に向けて、全職員とともに頑張ることを確認・実行したいと思います。また私は産婦人科部長でもありますので中野区の出産環境を整えることを中心に、地域の病診連携医療に尽くしたいと考えております。ご協力をよろしくお願いいたします。

●プロフィール: 1976年東京大学医学部卒。東京大学医学部産婦人科教室入局。1987年山梨医科大学(現山梨大学医学部)産婦人科教室講師。1992年関東中央病院産婦人科部長。2007年東京警察病院産婦人科部長。日本産婦人科学会専門医、母体保護法指定医。専門分野は、周産期(合併症妊娠、帝王切開既往妊娠など)、悪性腫瘍(手術、抗がん剤治療など)。



大島 秀男

副院長として主に、病院事業計画・医療連携を担当することになりました大島です。東京警察病院は、地域の皆様のニーズに合わせて、ハード、ソフトの両面で高レベルの医療を安定的に提供することを目指しています。健全な経営基盤、地域との密接な医療連携はその目的を達成するために不可欠なものと考えています。今後とも地域のマグネット病院を目標に、先生方や患者様に信頼される病院であるようスタッフ一同努力していく所存です。

●プロフィール: 1988年東京大学医学部卒。東京大学医学部旧第一外科入局。1990-2年国立がんセンター外科レジデント。1994-8年東京大学医学系大学院博士課程。2005年東京警察病院外科部長、2008年内視鏡センター長兼務。2011年手術センター長兼務。医学博士、日本外科学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医。専門分野は、消化器外科、大腸肛門外科、大腸内視鏡。



河野 道宏

主に業務改善担当の副院長職を拝命しました河野です。平成16年6月に当院の脳神経外科部長として着任以来6年半が経過しましたが、その間に皆様と共に病院移転、病院機能評価取得を経験しました。これまで病棟委員会・救急委員会・病院機能評価委員会を通じて得た知識や経験を最大限に活用して、地域の皆様にとってより良い病院を目指し、その変革の一端を担えるよう努力させて頂く所存です。どうかよろしくお願い致します。

●プロフィール: 1987年浜松医科大学卒。東京大学脳神経外科所属。1995-2004年 富士脳障害研究所附属病院 脳神経外科部長。2004年6月より東京警察病院 脳神経外科部長。2007年4月より脳卒中センター長を兼務。医学博士、日本脳神経外科学会専門医、日本脳卒中学会専門医、日本脊髄外科学会認定医、日本頭蓋底外科学会評議員、2008年4月より東京大学医学部非常勤講師を兼務。専門分野は聴神経腫瘍・頭蓋底腫瘍の手術、脳血管障害の手術。



長谷川 俊二

副院長として主に、「病院機能向上」に関する分野を担当します。特に、医療の質の向上と医療安全を大きなテーマとして活動します。当院には最新の医療機器が装備されていますが、本当の良い病院であるための条件はハード面の完備ではなく、診療面での高い医療技術、高潔な医療モラル、安全な医療の実践であると考えています。この観点から職員全員で安全かつ質の高い医療を積み重ね、皆様に信頼される病院となるよう努力してまいります。

●プロフィール: 1977年群馬大学医学部卒。2004年東京警察病院外科部長。2008年東京警察病院化学療法センター長兼務。医学博士、日本外科学会指導医、日本消化器病学会指導医。専門分野は、消化器外科、乳腺外科、肺外科、抗がん剤治療。



東京警察病院の頭文字「T」をモチーフに、3つの「意味」を込めてつくられました。
Thoughtful(ソートフル).....患者様の立場に立った医療を目指していきます
Technical(テクニカル).....医療レベルの向上に努めていきます
Trustworthy(トラストウォーシー).....皆様の信頼に応えていきます

Report 1

さらなる急性期医療の推進

～当院の血管内治療のご紹介～ 切らずにカテーテル治療



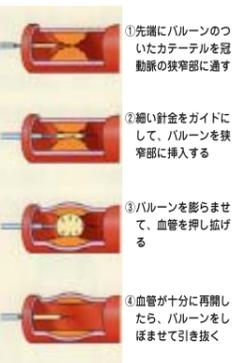
心臓病 脳卒中は時間との闘い

心臓疾患、脳卒中は24時間、いつ発症するかわかりません。一刻も早い治療・処置が必要になります。東京警察病院では、夜間、休日を問わず医療スタッフが常時待機し、緊急の検査や治療にあたる体制で備えています。

血管内治療その1 ～心臓カテーテル治療～

突然発症した胸痛で緊急受診し、心電図検査で「急性心筋梗塞」と診断された場合は、直ちに循環器専用の心血管造影装置を駆使した治療が開始されます。冠動脈内血栓によって閉塞された部位を確認のうえ、カテーテルを用いた治療を行って、血流を再開させます。このとき使用される治療用具が、バルーンあるいはステントとよばれるものです。これにより、患者様の自覚症状は著しく改善し、生命の危機から脱出できるのです。東京警察病院では、24時間カテーテル治療が実施できる体制をとっており、急性心筋梗塞の治療にあっております。

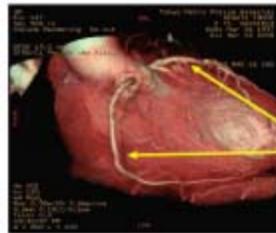
風船療法(バルーン)



ステント療法

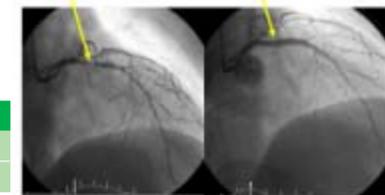


図1



正常冠動脈

狭窄病変



ステント留置による狭窄部の拡張

データ	H20年度	H21年度
心臓カテーテル検査	359件	483件
冠動脈形成術(カテーテル手術)	255件	255件

最新鋭の血管造影装置の導入

外科手術(開頭・開胸)をせずに、心臓・脳の血管内の検査・治療をすることができます。東京警察病院では、2台の血管造影装置を配備しています。パイプライン血管造影装置は、同時に2方向から検査が可能で、治療の時間も短縮、また造影剤も半分にすることが可能となりました。



パイプライン血管造影装置 2方向から撮影可能で、迅速な診断が可能

東京都CCUネットワークに参加しています

東京警察病院は、東京都で心臓病治療の実力を認められた医療機関が相互協力して、心臓病救急搬送を確実に受け入れることを目的とした「東京都CCUネットワーク」に参加しています。主に急性心筋梗塞等の冠動脈疾患の急性危機状態の患者様を収容し、厳重な監視下のもと持続的に管理する部門をもつ医療機関が参加し、早期の専門的治療が必要な心疾患が疑われる患者様をスピーディーに診療します。救急隊や地域の医療機関との相互協力のもと、これからも、地域の心臓病救急にリーダーシップを発揮してまいります。



東京警察病院
CCU ホットライン
について



心臓疾患は、急性に生じ、その対応もスピーディーであることが求められます。東京警察病院では近隣医療機関の医師が、当院の循環器科医師と、簡単・確実に連絡がとれ、できる限り速やかに一人でも多くの心疾患患者様を発症場所から専門施設に収容し、早期に専門的治療を行える地域の組織化を構築しています。これにより、救急隊の搬送先選定が迅速となり、搬送時間が短縮し、心肺停止を来しやすい発症初期の危険な時間帯にCCUへ収容できるようになります。

さらに、CCU施設と開業医、一般病院との病診・病病連携の改善から患者搬送における時間短縮を図ることが可能です。

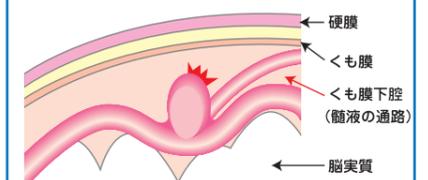
血管内治療その2 ～脳血管カテーテル治療～

脳卒中は、がん、心疾患に続き、国民の死亡原因の第3位を占めています。脳卒中の治療法は、病態や時間経過に応じて有効な治療法が異なります。脳卒中を発症し、手足のまひ、ろれつがまわらない、物が二重に見える、意識障害などの症状があらわれたときは、速やかに適切な急性期医療機関に救急搬送することが、その後の後遺症の軽減に大きく影響します。東京警察病院では、急性期の脳血管障害の治療には、外科的手術もしくは、脳血管内治療を、患者様の状態に合わせて、最良の治療法を選択しています。

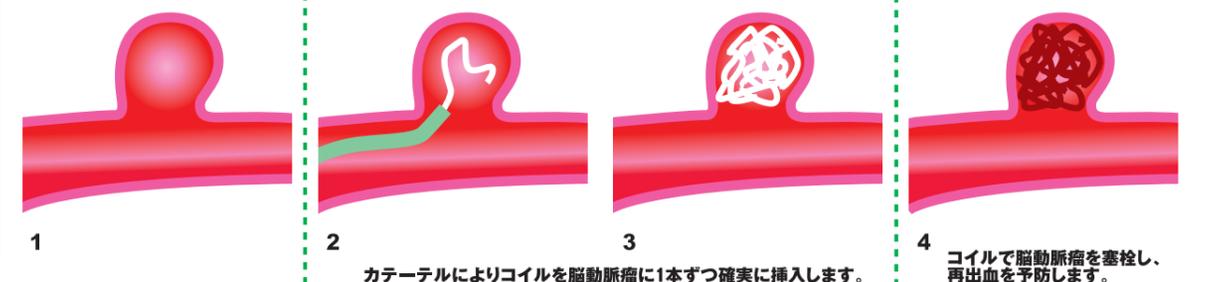
脳血管内治療は、開頭手術をすることなく治療を行います。足の付け根を走る動脈からカテーテルを挿入し、脳血管の内側から手術する方法です。たとえば、くも膜下出血の患者様に対して、脳血管造影で適応が認められた場合には、その場で全身麻酔をかけ、動脈瘤が再破裂しないうちに「脳動脈瘤塞栓術」を行うことが可能で、緊急性を要する症状に、24時間迅速に対応します。

※脳卒中には、血管が詰まる「脳梗塞」、脳内の細い血管が破れて出血する「脳出血」、脳動脈瘤が破れて脳表面に出血する「くも膜下出血」があります。

くも膜下腔を走行する脳動脈にできたコブが破裂すると、出血は髄液の通路であるくも膜下腔に広がります



脳動脈瘤塞栓術の一例



確かな技術

脳卒中発症が疑われる主な徴候

次のような徴候が突然現れた場合、脳卒中が疑われます。すぐに、119 救急車を呼びましょう

☆歯を見せたり笑ってみせたときに、顔のゆがみがある



☆目を閉じて、10秒間両腕を挙げてみるようにしても、片側だけ挙がらない、または挙がり方に差がある

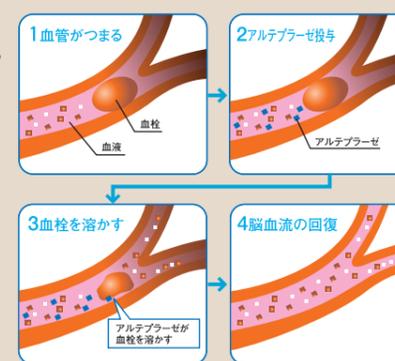


☆話をしても不明瞭な言葉が出たり、あるいは全く話せない

東京都脳卒中急性期医療機関に認定されています

東京警察病院は、東京都から脳卒中急性期医療機関として認定されています。この制度は、脳卒中難民をつくらないための政策で、急性期脳卒中患者様を24時間いつでも受け入れられる環境、体制をもつ医療機関が認定を受けています。

当院では、発症3時間以内の超急性期脳梗塞治療である、血栓溶解療法(t-PA治療)を実施、さらに緊急脳血管内治療による血栓除去手術も実施しており、救急隊との協力のもとスピーディーな診断、治療を行っています。



高精度なモニターを確認しながらのカテーテル治療